

令和 6 年度  
事業 実 施 報 告 書

新潟市南区社会福祉協議会

## 新潟市南区社会福祉協議会事業報告

### 【概要】

南区社会福祉協議会では、コロナ禍により縮小を余儀なくされた活動が再び活力を取り戻せるよう、地域住民や関係機関と連携し、創意工夫を凝らしながら地域福祉活動を展開してきました。

また、コロナ禍により生活に困窮した世帯の中には、依然として厳しい状況が続いているケースも多いため、経済的負担の軽減を目的として、日用品や食料品の提供を通じた相談支援を継続して実施しました。あわせて、生活困窮の予防的取り組みとして、子どもたちが金銭管理の基本を学ぶための「教材づくり」にも取り組みました。

令和3年度からの6ヶ年計画である「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画（南区地域福祉アクションプラン）」に基づき、支え合いのしくみづくりや、区社協の事業を通じて顕在化した福祉課題の発信に努めるとともに、各地区においてコミュニティ協議会や関係団体と協力し、地域課題の解決に向けた活動を検討・推進しました。

さらに、福祉教育の一環として、ひきこもりの方々への理解を深め、支え合える地域を目指した講座を開催しました。少子化が進行する南区においては、「地域共生社会」や「支え合いのしくみのある地域」の実現を目指し、「みんな生き生き活躍できる地域づくりは多文化が共生する地域」をテーマに、「共に生き 支え合う南区地域福祉フォーラム」を開催しました。その後、このフォーラムを契機に、「こどもの居場所キックオフミーティング」などの取り組みへと発展し、地域ネットワークの強化を図りました。

今後も、令和6年度に実施した事業を基盤として、より具体的な展開へとつなげながら、地域住民が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

## 【事業実施状況】

### 1. 区社協地域福祉推進活動事業（市社協基本目標1：孤立を見逃さない地域づくり）

#### （1）地区社協活動交付金事業

地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に事業費助成を行ったほか、地区社協がより活発に活動できるよう情報交換会を行うなど、様々な支援を行いました。

#### ○コミ協会長・地区社協会長・地域生活センター職員合同会議

開催日	会 場	協議内容
令和6年 8月6日（火）	割烹 伊万里	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について</li> <li>・令和6年度地区社会福祉協議会交付金について</li> <li>・令和6年度地区社会福祉協議会活動推進事業について</li> <li>・地区社協活動事業実践報告（月潟地区・大通地区）</li> <li>・地区社協活動に関する意見交換会</li> <li>・南区社会福祉協議会業務依頼について</li> <li>・第16回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について</li> <li>・共に生き支え合う南区地域づくりフォーラムについて</li> <li>・令和6年度共同募金公募型助成事業の募集について</li> </ul>

#### ○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

#### （2）地域ふれあい助成事業

利用団体はなかったものの、昨年度に本事業を利用していた団体は、引き続き地域の見守り活動に取り組まれていました。

	R6（件）	R5（件）	R4（件）
取り組み件数	0	1	3

#### （3）地域福祉活動計画推進事業

第3期南区地域福祉アクションプラン（令和3年度～8年度までの6年間）の計画推進のため、行政と連携し計画の進捗管理のための推進委員会を開催し、目標達成のための活動事業について検討しました。

また地区別計画については、年度初めと年度の終盤に地域で推進会議を開催、目標達成に向けた地域活動を検討し評価検証する仕組みをつくりました。

回	開催日・会場	主な内容
1	令和6年8月6日（月） 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区地域福祉アクションプラン分野別計画における令和6年度の取り組みについて</li> <li>・同プラン地区別計画の令和6年度の取り組みについて</li> </ul>
2	令和6年3月3日（月） 南区役所 4階	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区地域福祉アクションプラン分野別計画の令和6年度の取り組みと評価について</li> </ul>

	講堂	・同プラン地区別計画の取り組みと評価について	他
3	(地区推進会議) ① 令和6年6～7月 ② 令和6年12月～令和7年2月	①令和6年度のアクシヨンプランの取り組みに関する計画打合せ会議(12地区で開催) ②令和6年度のアクシヨンプランの取り組みに関する評価会議(12地区で開催)	

#### (4) 地域包括ケア推進事業(1層)：受託事業

地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、地域の茶の間等で支え合いのしくみづくりや地域での見守り、助け合い・支え合いの活動の立ち上げに向けた啓発を第2層圏域の支え合いのしくみづくり推進員と協力して行いました。また「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」では、南区内の活動を発表し、住民の意識啓発に努めました。

定期的を開催するSC連絡会では、各圏域の課題を共有し、それぞれの活動を連携・協力し合いながら進められるよう支援しました。また、地域包括支援センターとの圏域での情報交換では、地域の課題や活動を中心に情報を共有しました。

南区助け合い「お互いさま・新潟」(通称：南区お互いさま)については、相談の連絡が入ると、各地区で運営している生活支援サービスへつなぎ対応してもらいました。

南区第1層支え合いのしくみづくり会議では、南区の3つの課題「高齢者の参加・活躍、介護予防の場づくり」「担い手の育成」「認知症について地域での理解促進」について、第1層構成員が我が事として考えた意見・アイデアから具現化に取り組み、成果物として「地域の茶の間メニュー表」や「週一茶の間推進チラシ」が完成しました。

#### ○南区第1層支え合いのしくみづくり会議開催状況

	開催日	主な内容
第16回	7月3日(水)	(1) 南区第1層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について (2) 令和5年度南区第1層支え合いのしくみづくり会議の振り返り (3) 南区の3つの課題への取り組み計画について ・高齢者の参加・活躍、介護予防の場づくり ・担い手の育成・発掘 ・認知症について地域での理解の促進
第17回	9月27日(金)	(1) 第1回支え合いのしくみづくり会議の振り返り (2) 南区3つの課題へのアプローチ ・地域の茶の間講師派遣メニュー表(案)について ・週一回の茶の間推奨活動について ・担い手の育成講座について ・認知症講座について
第18回	2月5日(水)	(1) 令和6年度 南区第2層生活支援体制整備事業について (2) 第2回支え合いのしくみづくり会議の振り返り (3) 令和6年度 南区第1層生活支援体制整備事業について

	(4) 令和7年度 南区第1層生活支援体制整備事業について
--	-------------------------------

## ○南区第2層支え合いのしくみづくり会議開催状況

圏域	開催日	会場
臼井・白根北	令和7年3月5日（水）	大通地区生活センター
白南・白根第一	令和7年2月21日（金）	南区役所
味方	令和6年4月23日（火）	味方出張所
	令和6年6月4日（火）	
	令和6年8月7日（水）	
	令和6年10月16日（水）	
	令和6年12月11日（水）	
	令和7年2月13日（木）	
月潟	令和7年2月7日（金）	月潟出張所

## ○南区支え合いのしくみづくりフォーラムの開催

開催日時	会場	内 容
令和6年11月30日（土）	白根学習館 ラスペックホール	※「共に生き支え合う南区 地域づくりフォーラム」と題し、地域福祉推進フォーラムと合同開催 18ページに詳細を記載してあります。

## ○南区助けあい「お互いさま・新潟」（通称：南区おたがいさま）の活動

【住民相互の助け合い活動の実施・相談の受付】

南区助け合い「お互いさま・新潟」については、各地区で生活支援事業の立ち上げが進んだことから、ご相談をいただいた依頼を各地区の活動を紹介し対応しました。

○相談内訳（R6.4.1～R7.3.31）

圏 域	臼井 白根北	白南 白根第一	味方・月 潟	事業所 その他	計
問い合わせ件数	0 件	5 件	0 件	3 件	8 件
問い合わせ内容	・ゴミ出し ・草取り ・掃除	2 件 3 件 1 件	・傾聴 ・通院付添い	1 件 1 件	

## ○南区生活支援サービスサミットの開催

南区の生活支援サービスの向上と団体同士が活動について相談できる関係づくりやネットワークをつくることを目的に開催しました。

開催日時	会場	内 容
令和6年10月18日（金）	大通地域生活センター	・趣旨説明と事前アンケートについて ・高齢者を支える支援を知る ・情報交換

## 2. 区社協見守り・生活支援事業（市社協基本目標2：ネットワークを活かした一人ひとりの困りごとの解決）

### （1）おせち料理等宅配事業

各地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への配食サービス、友愛訪問活動、及びおせち料理宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会参加数 配食数	安心箱等 訪問回数	おせち配食 世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員、自治会 保育園保護者会、地域代表	—	17	15
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員、自治会 コミ協	119 (配食)	40	20
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	48 (配食)	92	47
小林地区社協	地区社協、民生委員、食推委員 コミ協	18 (昼食会)	160	28
臼井地区社協	地区社協、民生委員	125 (配食)	125	37
大郷地区社協	地区社協、民生委員	83 (配食)	208	29
鷺巻地区社協	地区社協、民生委員、自治会	119 (配食)	20	14
根岸地区社協	地区社協、民生委員	—	83	34
大通地区社協	地区社協、民生委員	24 (昼食会)	272	53
白根地区社協	地区社協、民生委員	53 (昼食会) 215 (配食)	—	217
味方地区社協	地区社協、民生委員	—	21	43
月潟地区社協	地区社協、民生委員	—	75	51
合 計		804 人 (791 人)	1113 人 (1235 人)	588 食 (566 食)

※（ ）内は前年度数

### （2）子育て支援事業

南区内の子ども・子育て支援団体が活発に活動できるよう、概ね月1回程度の開催がある活動に対して助成を行いました。また、団体同士のつながりづくりの場や今後の活動の一助となることを目的としてネットワーク会議を開催しました。

○子どもの居場所づくり支援事業助成

助成団体数：2 団体（運営助成：上限額 年 20,000 円）

地区	開催名	会場
新飯田	新飯田ママクラブ	新飯田地域生活センター
大通	大通こども食堂もぐ	大通地域生活センター

○南区子育て支援団体ネットワーク会議

開催日時	会場	内 容
令和 6 年 9 月 13 日 (金)	白根健康福祉センター	・ 講義「最近の親子関係と子育て支援」 講師：新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 教授 伊藤 真理子氏 ・ 情報交換

### （３）緊急情報キット配付事業

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治会・町内会長の協力のもと配布しました。

＜令和 6 年度配布内訳＞

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	4	0	0	0	0	0	4
茨曾根	1	0	0	0	0	0	1
庄 瀬	2	0	0	0	0	0	2
小 林	1	0	0	0	0	0	1
臼 井	0	4	0	0	0	0	4
大 郷	1	0	0	0	0	0	1
鷺 巻	1	0	0	0	0	0	1
根 岸	1	0	0	0	0	0	1
大 通	7	18	0	0	0	0	25
白 根	2	0	0	0	0	0	2
味 方	8	3	0	0	0	1	12
月 潟	0	0	0	0	0	0	0
施 設	0	0	0	0	0	0	0
合 計	28	25	0	0	0	1	54

\*令和 6 年度末までの総配布数 1,203 本（うち 200 本有償）

### （４）サロン助成・支援事業

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会等の小地域が主体となり仲間づくりや多世代交流事業を実施する「地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン」の立ち上げ支援や助成を行いました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの開催状況の把握に努め、南区社協だよりに実施団体の情報を掲載しました。

なお、地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成団体に対して、相談会を開催し、報告書類や次年度の助成申請書類の作成について個別に対応し支援を行いました。

#### ○地域の茶の間・ふれあいいきいきサロンの実績

地区名	サロン数				地区名	サロン数			
	高齢者					高齢者			
	市助成			助成無		市助成			助成無
	月 1 回 タ イ プ	月 2 回 タ イ プ	週 1 回 タ イ プ	不 定 期 開 催  季 節 開 催 等		月 1 回 タ イ プ	月 2 回 タ イ プ	週 1 回 タ イ プ	不 定 期 開 催  季 節 開 催 等
新飯田	1	0	0	4	鷲 巻	1	0	0	2
茨曾根	4	0	0	2	根 岸	1	0	0	3
庄 瀬	1	0	1	1	大 通	3	1	0	3
小 林	3	0	1	2	白 根	12	0	1	1
臼 井	2	0	0	1	味 方	3	0	0	8
大 郷	1	0	0	2	月 潟	3	0	1	2
(市助成金活用団体) 合計 40 か所					合 計	35	1	4	31
月 1 タイプ (30,000 円) ／36 か所					合 計	71 (69)			
週 1 タイプ (240,000 円) ／4 か所									

※ ( ) 内は前年度数

#### ○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・会場	内容・参加者
南区ボランティア・地域の茶の間・サロン交流会 参加者 47 名	令和 6 年 12 月 13 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康講座 「髪のエイジングケア」</li> <li>ボランティア団体とサロン代表者の活動発表</li> <li>体しやつきり体操 (南区社協バージョン)</li> <li>情報交換タイム</li> </ul>
地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン		令和 6 年度事業実績報告書、収支決算書、令和 7 年度事業申請書、ボランティア行事用保険の



助成事業報告及び申請書類作成相談会 相談対応 28 件	令和 7 年 3 月 24 日 (月)、 25 日 (火)、28 日 (金)	加入についての個別相談会
--------------------------------	---	--------------

## (5) コミュニティソーシャルワーク推進事業

様々な理由から支援が必要な世帯が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら支援を行いました。

生活困窮の課題に対して、ひとり親世帯や生活困窮世帯へ生活支援を実施しました。賛同団体や企業、ボランティアより協力をいただき、支援を必要とする世帯が相談につながる機会となりました。また、予防的取り組みとして、専門学校や高等学校等に協力いただき、若い世代が家計管理について学ぶためのライフスキルツールを製作しました。

地域福祉ネットワーク会議では、地域と事業所のつながりづくりをテーマに開催し、互いの活動や困りごとについて理解し、協力できることに対してのマッチングの機会としました。

取り組みは次のとおりです。

	開催日	主な内容
1	毎月第 2 土曜日 (1 月と 2 月は大雪のため中止)	ひきこもりに悩んでいる家族の居場所 ・毎月：交流会 ・3 月：講師に長岡崇徳大学 看護学部看護学科 斎藤まさ子教授を招き、家族と意見交換を実施
2	毎月第 2 土曜日 (1 月と 2 月は大雪のため中止)	ひきこもり当事者の居場所 (rakkura らっくら) ボードゲームや参加者同士の交流など、自由にゆったりと過ごしていただく居場所として開催。
3	令和 6 年 12 月 17 日 (火)	ひきこもり支援連絡会 (新潟市ひきこもり相談支援センター共催) ・参加機関 新潟市こころの健康センター、新潟地域若者サポートステーション、新潟市パーソナル・サポート・センター、新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉、区内地域包括支援センター、南区健康福祉課、新潟県社会福祉協議会 ・内容 「地域で孤立している世帯への支援検討のためのアンケート調査」報告、事例検討会
4	令和 6 年 7 月 19 日 (金) 7 月 20 日 (土)	ひとり親世帯への生活支援 (協力：区健康福祉課児童福祉係、賛同団体・企業)
5	令和 6 年 12 月 10 日 (火)	生活困窮世帯への生活支援

	～11 日(水)	(協力：賛同団体・企業)
6	<p>【第 1 回】 令和 6 年 6 月 13 日(木)</p> <p>【第 2 回】 令和 7 年 1 月 22 日(水)</p>	<p>地域福祉ネットワーク会議</p> <p>【第 1 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 5 年度開催報告</li> <li>・ 地域と事業所でコラボ活動しよう！ マッチング、名刺交換・活動紹介、意見交換</li> </ul> <p>【第 2 回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回会議の振り返り</li> <li>・ 地域×事業所コラボ実践報告 報告者：みなみサロン、ワークセンターまめの木</li> <li>・ 講話「地域と福祉事業所のコラボでまちづくり！！ より深くつながるためのヒントとは」 講師：新潟青陵大学福祉心理子ども学部社会福祉学科 学科長 李 在億氏</li> <li>・ グループワーク</li> </ul>
7	毎月開催	<p>生活困窮者情報共有会</p> <p>生活困窮の相談をもとに、区の保護係と新潟市パーソナル・サポート・センターとともに情報共有会を行い、連携して継続的な支援を行えるよう確認しました。そのなかで、緊急性の高い事例について検討するパーソナル・サポート・センター主催の支援会議に参加しました。</p>
8	令和 7 年 1 月 14 日(火)	<p>【孤立世帯実態把握訪問打合せ会】</p> <p>令和 5 年度に実施した「孤立世帯への支援検討のためのアンケート調査」の結果をもとに、実態把握訪問を行うための打合せ会を開催し、心配な世帯についての情報共有や訪問方法について検討しました。</p> <p>協力：地域包括支援センターあじかた 味方地区民生委員児童委員協議会</p>
9	<p>【第 1 回】 令和 6 年 5 月 8 日(水)</p> <p>【第 2 回】 令和 6 年 7 月 24 日(水)</p> <p>【第 3 回】 令和 7 年 3 月 11 日(水)</p>	<p>【ライフスキルツール製作のための検討会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製作ツールについての検討</li> <li>・ ツールを活用した福祉教育講座の内容についての検討</li> </ul> <p>協力：新潟コンピュータ専門学校 新潟県労働金庫 新津支店 新潟県立白根高等学校 新潟市消費生活センター</p>

＜実施状況推移＞

区 分	R6 年度	R5 年度	R4 年度
相談受付件数	228 件	266 件	295 件

＜個別支援事例＞

事例概要	認知症があり介護が必要な親と同居する障がいの疑いのある子の世帯。生活困窮により、必要な介護サービスの利用ができないことが危惧されたことから、関係機関とカンファレンスを開催し、支援者同士の情報共有を行い、必要な支援と役割分担、今後の方向性について検討しました。
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の支援を担当しているケアマネジャーから「一緒にかかわってほしい世帯がある」と相談があり、新潟市パーソナル・サポート・センターへのつなぎを行いました。</li> <li>・ケアマネジャー、新潟市パーソナル・サポート・センターと自宅への訪問、面談を行いました。</li> <li>・訪問看護、デイサービス相談員を含む関係者でカンファレンスを開催しました。世帯員の状況について確認し、課題や必要な支援について整理し、支援者間で役割分担を行いました。それぞれの課題や必要な支援について整理し、支援者間で役割分担を行いました。各機関で支援を行いながら、動きがあった際には随時情報共有を行いました。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮支援につながり、必要な介護サービスの利用継続が可能になりました。</li> <li>・支援者同士のつながりができ、役割分担を行ったことで各自の役割が明確となり、情報共有を行いながら支援をすることができました。</li> </ul>

○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区保健医療福祉のつながりを深める会に参画し、地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、関係機関とのネットワーク構築に勤めました。また、認知症と ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生介護とも訳され、将来、病気や事故などで自分の意思を伝えられなくなったときに備えて、自分の望む医療やケアについて、本人・家族・医療・介護チームと前もって話し合っておくプロセスのこと）をテーマにした講演会開催に協力しました。

開催日	会 場	内 容
区民公開講座 令和7年2月2日（日）	白根学習館ラズ ペックホール及 びオンライン	基調講演・対談 「70歳からの未来設計～私、認知症はじまっている？身近な人や自分の将来を考える～」 講師：一般社団法人 東京都医療ソーシャルワーカー協会元会長 武山 ゆかり氏 聞き手：介護老人保健施設みずき苑支援相談員 坂詰 明広氏 参加者 172 名 (オンライン 31 名・会場 141 名)

## （６）心配ごと相談事業

毎月第２・第４水曜日に心配ごと相談所を開設し、心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。なお、７・８月は南区人権擁護相談員と合同で相談会を開設しました。

相談員は、本部主催の相談員研修会並びに区主催の相談員研修会に参加し、事例検討を実施して相談員としての資質向上に努めました。

### 〔心配ごと相談所相談件数〕

区 分	R6	R5	R4
開催日数（回）	24	24	24
相談件数（件）	13	7	15

### 〔研修会〕

日時・会場	主な内容	参加人数（人）
令和6年7月10日（水） 市総合福祉会館	「弁護士さんに聞いてみよう！」 part3 講師：あさひ新潟法律事務所 弁護士 山田 聡之 様	6
令和7年2月28日（金） 南区社会福祉協議会	「南区心配ごと相談 ケース報告・勉強」	10
令和7年3月5日（水） 市総合福祉会館	「対応に困る相談・相談所の役割」 講師：新潟県臨床心理士会 会長 藤沢 直子	5

## （７）生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等を対象に生活福祉資金貸付について相談支援を行いました。

相談を受けるなかでみえてくる生活課題などもあるため、関係機関等と連携しながら支

援していく必要があります。

[新規貸付件数]

資金名		R6(件)		R5(件)		R4(件)	
		相談	貸付決定	相談	貸付決定	相談	貸付決定
本則 生活福祉資金	総合支援資金	3	0	9	0	6	0
	福祉資金	14	0	24	0	39	1
	教育支援資金	1	0	25	0	19	1
	不動産担保型 生活資金	3	0	0	0	0	0
	その他	30	0	23	0	1	0
コロナ特例	総合支援資金	0	0	0	0	157	7
	緊急小口		0		0		14
合 計		51	0	72	0	222	23

### ○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し、福祉サービス利用や日常的金銭管理のサービス提供に努めました。

新規契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
0（2）	6（7）	1（1）

（ ）内は前年度数値

### （８）行旅人旅費貸付事業

紛失や盗難等で現金を携行できない行旅人で他の支援策による救済が困難な相談者に対して支援を行うため、他区社協と情報共有を行いました。

区 分	R6	R5	R4
貸付件数（件）	0	1	0

### （９）高校進学に向けた相談支援事業

高校進学（義務教育からの卒業）段階で支援を必要とする子どもや世帯の孤立を防ぐことを目的に、表出する地域生活課題とＣＳＷとがつながるきっかけの一つとして、高校進学のための経済的支援の一覧表を作成・配布し、区内中学校に周知を図りました。

## 3. 区社協ボランティア・市民活動事業（市社協基本目標１：孤立を見逃さない地域づくり）

### （１）ボランティア・市民活動センター運営事業

新たに立ち上がったボランティア団体や、既存のボランティア団体の新規登録が増加し、団体数や所属人数が増加しました。

### ○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	9	2	12	2	1	3	34	0	63
所属人数	144	47	189	53	19	101	651	0	1204
個人人数	2	6	0	1	0	0	0	2	11

### ○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事用保険（件）
562	488

### ○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい（件）	ボランティア 欲しい（件）	情報提供 したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
4	16	2	27	49

### ○ボランティア・市民活動センター運営委員会

区 分	R6	R5	R4
運営委員会回数(回)	2	2	2
運営委員数(人)	6	6	6

### ○南区ボランティア・市民活動センターだより

10月発行号は精神障がい児者支援のボランティア団体の方と一緒に、薬物等の回復支援施設の方に取材を行い、自身の回復の経緯やボランティアについてお話を伺いました。7、9、2月は社協だよりとの合併号で、登録しているボランティア団体の紹介や、令和6年度に行った事業について紹介しました。

区 分	部数	配布先
7月発行 No.17	送付 1,700 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先 ※新聞折込による全戸配布
9月発行 No.18	送付 1,700 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、賛助会員、その他関係先 ※新聞折込による全戸配布
10月発行 No.19	送付 1300 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、法人募金先、その他関係先

2月発行 No.20	送付 1,700 部 新聞折込 10,000 部	ボランティア団体、個人、サロン、施設、 学校、法人募金先、賛助会員、その他関係 先 ※新聞折込による全戸配布
------------	-----------------------------	--

## ○大雪対応

区分	除雪	生活支援	その他	計	うちボラン ティア活動人数
相談件数	5	0	0	5	0

## (2) 災害ボランティアセンター運営事業

### ○災害ボランティアセンター検討委員会

昨年1月の能登半島地震に始まり、9月には同じく奥能登豪雨による水害など、石川県を襲った災害により甚大な被害が及ぼされ、8月には宮崎県日向灘を震源とする地震により、南海トラフ地震臨時情報が発せられるなど、大きな災害に対する関心が高まった1年となりました。

その中で、南区災害ボランティアセンター事業では、新たに白根ロータリークラブや白根ローターアクトクラブを構成団体にお迎えし、平時から災害に備えて区内で地域防災出前講座や災害ボランティアセンター設置訓練、検討委員会の開催といった災害に関する取り組みを行いました。

区 分	R6	R5	R4
検討委員会回数(回)	4	6	5
検討委員数(人)	8	8	8

### <実施状況>

開催日	内容	参加委員数 (人)
令和6年6月18日(火)	新規メンバー顔合せ、今年度の取り組みについて(年間計画の説明)	5
8月20日(火)	令和6年度設置訓練について	4
12月17日(火)	設置訓練の振り返りについて リーフレット作成について	7
令和7年2月18日(火)	リーフレット原稿確認 令和6年度事業振り返りについて 令和7年度事業内容について	7

### ○災害ボランティアセンター設置訓練

令和6年度の設置訓練では、発災から災害ボランティアセンターの設置、他団体との関わりを通じての役割や位置付け、運営方法などを学び、センターを立ち上げるための必要な動き、留意点や課題など運営スタッフとボランティア双方の視点で共有し、災害に対する意識の向上を図れるように実施しました。

区分	R6	R5	R4
設置訓練参加者数（人）	38	34	22

<実施状況>

開催日	会 場	内容・参加団体	参加者数(人)
令和6年11月2日(土)	白根カルチャーセンターサブアリーナ	●南区災害ボランティアセンター設置訓練（模擬演習） 白根青年会議所、白根ライオンズクラブ、白根ロータリークラブ、南区防災士各位、白根コミュニティ協議会、庄瀬コミュニティ協議会、コミュニティ茨曾根、南区役所地域総務課、健康福祉課、にいがた災害ボランティアネットワーク、新潟市社協、北区社協、南区社協（計13団体参加）	38

○地域防災（防災学習）

地域防災出前講座は、近年頻発する自然災害による防災に対する意識の高まりもあり地域コミュニティ協議会や老人クラブ連合会、自主防災会、3団体からお声がけいただき、能登半島地震、新潟市西区の現状の被害状況の報告や災害ボランティアセンターの役割や災害発生時の対応、地域の特徴から日ごろの備え、意識啓発などの防災学習を開催しました。

区分	R6	R5	R4
防災学習参加者（人）	154	236	109

<実施状況>

開催日	会 場	内容・参加団体	参加者数（人）
令和6年5月25日(土)	新潟市アグリパーク	大郷コミュニティ協議会 鷺巻コミュニティ協議会	34
7月4日(木)	白根学習館	南区老人クラブ連合会	80
11月3日(日)	白根健康福祉センター	白根南部地区防災会	40

（3）ボランティア・市民活動育成事業

○ボランティア講座・交流会

令和6年度は子育て支援や健康増進に関わる団体など、新たなボランティア団体の設立がありました。ボランティア等交流会では、令和6年の健康テーマを「美」として、髪のエイジングケア講話を行い、体しゅっきり体操で運動、南区の食推監修によるランチプレートで構成しました。

区 分	R6	R5	R4
-----	----	----	----



ボラ講座参加者数（人）	41	98	74
新規ボラ団体設立（団体）	4	0	0
交流会参加者数（人）	84	95	96
施設研修会参加数（人）	-	-	-

#### <実施状況>

開催日	事業名	参加者数 (延べ人数)
令和6年6月28日(金)	ボランティアきっかけ作り講座 「南区しゃっきり隊※スキルアップ研修」	5人
令和6年度	助成金申請(2団体)及びボランティア団体表彰 推薦(2団体)	4団体
令和6年11月7日(木)、29日(金)、2月7日(金)	ボランティアサロン「みなくる」	14名
令和6年12月13日(金)	ボランティア交流会	47人
令和6年12月25日(水)	中学生ボランティア交流会	37人

#### (4) 福祉教育推進事業

令和6年度の福祉教育を実施した学校数は、区内小学校10、中学校2、高校1に加え県高校ボランティア部のボランティア講座を行ったことから大幅に増加して24校となりました。1校の授業数も増加し、延べ参加人数が1225名から2096名に増加。ユニバーサルデザインを学ぶプログラムも福祉教育のメニューに新しく加わりました。

また、地域の課題を学ぶ講座として「ひきこもりと農業」というテーマで講座を開催し、ひきこもり経験者と居場所の支援者（ひきこもり経験者の親でもある方）にご登壇いただいたことで、当事者や親の気持ちが大変よく分かったという感想を多くいただきました。

#### ○依頼を受けての福祉教育

区 分	R6	R5	R4
福祉教育実施学校（校）	24	9	12
大人の福祉教育実施（回）	1	7	5

#### <実施状況>

対象	内容	回数	参加者数 (延べ人数)
新飯田小学校4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話（福祉、視覚、高齢者、認知症）</li> <li>・当事者講話（視覚、聴覚）</li> <li>・当事者体験（手話）</li> <li>・体験（音声訳ボランティア）</li> </ul>	7回	84人

対象	内容	回数	参加者数 (延べ人数)
茨曾根小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、高齢者、認知症）</li> <li>・ 当事者講話（視覚、聴覚）</li> <li>・ 当事者体験（手話）</li> <li>・ 体験（音声訳ボランティア）</li> </ul>	6 回	108 人
庄瀬小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚）</li> <li>・ 当事者講話（視覚）</li> <li>・ 体験（音声訳ボランティア）</li> </ul>	4 回	48 人
小林小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚、高齢者、認知症）</li> <li>・ 当事者講話（視覚障、高齢者）</li> <li>・ 当事者体験（ボッチャ）</li> <li>・ 体験（音声訳ボランティア、施設訪問）</li> </ul>	8 回	160 人
臼井小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚、高齢者）</li> <li>・ 当事者講話（視覚障）</li> <li>・ 体験（音声訳ボランティア、高齢者）</li> </ul>	6 回	144 人
大鷲小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚、聴覚）</li> <li>・ 当事者講話（視覚、聴覚）</li> <li>・ 当事者体験（歩行誘導、手話）</li> <li>・ 体験（視覚、音声訳ボランティア聴覚）</li> </ul>	6 回	138 人
根岸小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、高齢者、認知症）</li> <li>・ 当事者講話（視覚）</li> <li>・ 当事者体験（歩行誘導）</li> <li>・ 体験（音声訳ボランティア）</li> </ul>	5 回	105 人
大通小学校 3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚、ユニバーサルデザイン）</li> <li>・ 当事者講話（視覚）</li> <li>・ 当事者体験（歩行誘導）</li> </ul>	4 回	332 人
味方小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、高齢者、ユニバーサルデザイン）</li> <li>・ 当事者講話（高齢者）</li> <li>・ 当事者体験（ボッチャ）</li> <li>・ 体験（高齢者）</li> </ul>	6 回	234 人
月潟小学校 4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚）</li> <li>・ 当事者講話（聴覚）</li> <li>・ 当事者体験（手話）</li> </ul>	3 回	75 人
月潟中学校 3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、高齢者、認知症）</li> <li>・ 当事者講話（視覚）</li> <li>・ 当事者体験（ボッチャ）</li> </ul>	5 回	130 人
白南中学校 2 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の課題を捉え解決策を考える</li> </ul>	6 回	240 人
白根高等学校 3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講話（福祉、視覚、ボランティア）</li> <li>・ 当事者講話（視覚、聴覚）</li> <li>・ 当事者体験（手話、ボッチャ）</li> </ul>	7 回	189 人

対象	内容	回数	参加者数 (延べ人数)
	・体験（音声訳ボランティア、施設訪問）		
新潟県高等学校ボランティア部	・講話（ボランティア入門）	1 回	98 人
清水ふれあい会	・講話（認知症）	1 回	11 人

#### ○福祉教育講座の開催

##### <実施状況>

開催日	事業名	参加者数 (延べ人数)
令和 6 年 10 月 3 日(木)	福祉教育講座「ひきこもる人と農業」 ・対談 ひきこもりさんの親の会・フォルトネット代表 関口 美智江氏 仮名・ひきこもり経験者 塩見 義人氏	36

#### 4. 区社協広報・啓発活動事業（市社協基本目標 3：信頼され、安定した法人経営）

##### （1）共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第 16 回南区社会福祉大会

少子化の進む南区において少数派になってきている子ども、子育て世帯を含め、すべての方々が安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域コミュニティ協議会や自治会・町内会、NPO 等様々な関係団体と共に取り組んでいます。「地域共生社会」「支え合いのしくみのある地域」の実現に向けて取組む先進地の実践事例を聴き、南区内の先進的な活動の報告から区民の地域福祉活動への意識を醸成するため、「共に生き支え合う南区地域づくりフォーラム・第 16 回南区社会福祉大会」を開催しました。

視聴期間	主な内容
令和 6 年 11 月 30 日(土) 白根学習館 ラスベックホール 参加数 120 人	<b>【第 1 部】</b> 表彰式 南区社会福祉協議会表彰 個人 11 人 団体 5 団体 基調講演 「みんなが生き生きと活躍できる地域づくりとは多文化が共生する地域づくり」 講師： 認定 NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 理事長 栗林 知絵子 氏  <b>【第 2 部】</b> 実践報告 大通こども食堂運営委員会 渡辺 悦子 氏 子育て安心ささえ隊 3739(みなみく) 久住 奈美香 氏 小柳 典子 氏

##### （2）広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
----------	-----	------

区社協だよりみなみ 第 56 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 6 年 7 月 7 日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉ネットワーク会議紹介</li> <li>・R6 年度社協会費納入のお願い、R6 年度事業計画・予算、R5 年度事業報告・決算報告</li> <li>・R5 年度共同募金実績報告</li> <li>・ひとり親世帯支援寄付募集案内</li> <li>・ひきこもり居場所案内、ふれあい・いきいきネットワーク事業紹介、緊急情報キット案内、心配ごと相談所案内 他</li> </ul>
区社協だよりみなみ 第 57 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 6 年 9 月 22 日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協活動紹介</li> <li>・赤い羽根共同募金運動協力のお祝い、共同募金公募型助成案内、生活支援事業実施報告</li> <li>・賛助会員企業、フォーラム開催案内</li> <li>・地域の茶の間・サロン・子育てサロン・こども食堂マップ 他</li> </ul>
区ボランティア・市民活動センターだより No.19	令和 6 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアインタビュー南区特集（田中五八生・新潟ダルク、秋庭保夫・南区たすけあい・ぱる）</li> <li>・ボランティアサロン「みなくる」の案内</li> </ul>
区社協だよりみなみ 第 58 号 ※区ボランティア・市民活動センターだよりとの合併号	令和 7 年 2 月 23 日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ボランティアセンター設置訓練実施報告</li> <li>・フォーラム開催報告、R6 表彰報告</li> <li>・生活支援サービスサミット開催報告</li> <li>・寄付、R6 赤い羽根共同募金運動実績報告</li> <li>・賛助会員企業、生活支援事業実施報告 他</li> </ul>

## 5. 区社協運営事業（市社協基本目標 3：信頼され、安定した法人経営）

### （1）理事会の開催状況

区 分	開催日・会場	協議題
第 1 回理事会	令和 6 年 5 月 30 日（木） 南区社会福祉協議会 会議室	(1) 令和 5 年度南区社会福祉協議会事業報告について (2) 令和 5 年度南区社会福祉協議会収支決算について (3) 南区社会福祉協議会表彰要綱に改正について
第 2 回理事会	令和 6 年 9 月 24 日（火） 南区社会福祉協議会 会議室	(1) 令和 6 年度南区社会福祉協議会会長表彰被表彰者の選考について (2) 令和 6 年度共に生き支え合う南区地域づくりフォーラムについて
第 3 回理事会	令和 7 年 3 月 12 日（水）	(1) 令和 7 年度南区社会福祉協議会事業計画（案）に

	南区社会福祉協議会 会議室	について (2) 令和 7 年度南区社会福祉協議会収支予算（案）に ついて (3) 役員の改選について
--	------------------	--

## (2) 監事会の開催

区 分	開催日・会場	監査事項
監事会	令和 6 年 5 月 15 日(水) 南区社会福祉協議会	・ 令和 5 年度南区社会福祉協議会事業実施報告について ・ 令和 5 年度南区社会福祉協議会収支決算について

## (3) 会員会費の納入状況(目標額：1 世帯 500 円)

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額（円）
新飯田	484	472	97.5%	236,000
茨曾根	407	406	99.8%	203,000
庄 瀬	617	617	100.0%	308,500
小 林	1,091	814	74.6%	407,000
臼 井	948	812	85.7%	406,000
大 郷	452	413	91.4%	206,500
鷺 巻	513	513	100.0%	256,500
根 岸	1,166	1,002	85.9%	501,000
大 通	2,432	1,990	81.8%	995,000
白 根	3,701	2,890	78.1%	1,440,800
味 方	1,282	974	76.0%	486,500
月 潟	1,132	1,027	90.7%	513,500
合 計	14,225 (14,364)	11,930 (11,919)	83.9% (83.0%)	5,960,300 (5,959,300)

※（ ）内は前年度数値

## (4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個 人        74 人        75,500 円    (91 人    72,500 円)  
法 人        28 社        215,000 円    (27 社    195,000 円)

## (5) 役職員研修事業

役職員の資質向上を図るため、県民福祉大会や各種研修会へ積極的に参加しました。

研修名	参加人数
第 74 回県民福祉大会	4 人
第 16 回全国校区・小地域福祉サミット 2024	7 人

## 6. 市受託事業の推進

### (1) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により交付金として還元しました。

区 分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数 (施設)
	開催数 (回)	参加者数 (人)		
令和 6 年度	3	16	(新規) 6	0
合 計 ※1.2 は累計	239 ※1	207 ※2	134	48

○元気力応援事業 ※R6 年度より廃止

## 7. 共同募金事業の推進

[令和 5 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区 分	令和 6 年度 目標額	令和 6 年度 実績額	達成率	令和 5 年度 実績額	対前年比較
共同募金	6,680,000 円	6,026,422 円	90.2%	6,038,959 円	△12,537 円
歳末募金	2,876,000 円	3,004,339 円	104.5%	3,050,035 円	△45,696 円
合 計	9,556,000 円	9,030,761 円	94.5%	9,088,994 円	△58,233 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	4,818,670 円	80.0%
法人募金	776,421 円	12.9%
学校募金	244,700 円	4.1%
街頭募金	41,893 円	0.7%
職域募金	75,411 円	1.3%
イベント募金	0 円	0.0%
その他募金	69,327 円	1.2%
合 計	6,026,422 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,948,285 円	98.1%
職域募金	56,054 円	1.9%
その他募金	0 円	0.0%
合 計	3,004,339 円	100.0%